平成23年度　広島市立井原小学校　学 校 経 営 計 画

学校教育目標　**自主性･創造性に富み、たくましい実践力と豊かな感性をもった心身ともに健康な子どもを育てる。**

目指す学校像（ビジョン）　すべての子どもと教職員が、目標をもって日々努力を重ねる学校。
子どもが喜んで登校する学校。

目指す子ども像･･･
- ○ すすんで学び、最後までやりぬく子ども
- ○ 自分の考えを上手に表現できる子ども
- ○ 自分を見つめ、友達を大切にする子ども
- ○ 自分の体を知り、きたえる子ども

目指す教師像････
- ○ 子どもを見つめ、温かく心を通わせながら、自ら学び続ける教師
- ○ 子どもや保護者から信頼され、尊敬される教師
- ○ 何ごとにも前向きに、明るい態度で取り組む教師

領域	中期経営計画	短期経営目標	具体的方策		評価指標･評価基準 努力指標			評価指標･評価基準 成果指標	
学力の向上	力をつける授業づくりを行う（学ぶ意欲、思考力･判断力･表現力･実践力を育てる）	**基礎的･基本的な内容の確かな定着を図る。**（昨年度、基礎基本定着状況調査における結果は県平均、市平均を概ね上回ったが、日々の学習状況を見ると、調査結果に見合う力がまだ十分についているとは言い難い。そのため、単元別のテストを含め、平均通過率以上の結果を安定して残せるよう、いっそう指導方法の工夫改善に取り組むこととした。）	授業のねらいを明確にするとともに、自分の思いや考えをはっきりさせ、表現する（話す）児童の育成を目指し、言語活動（対話を含めた話し合い活動など）を授業の中に効果的に取り入れる。		4	授業のねらいを明示する。言語活動を意識した学習活動を	達成率100％	4	自分の考えをはっきり表現できるようになったと思える児童の割合が　90％以上
					3	1日1回以上展開する。	達成率90％以上	3	80％以上
					2		達成率80％以上	2	70％以上
					1		達成率80％未満	1	70％未満
			家庭学習も含めて、思考力･表現力の基盤となる読書量を増やす。 学校では、すぐに本が取り出せるよう、常に1冊の本を学習机にキープしておけるようにする。		4	マイブックを常備させ、週4回読書タイムを行う。	達成率100％	4	マイブックを常備し、個人の目標冊数に到達した児童が　90％以上
					3		達成率90％以上	3	80％以上
					2		達成率80％以上	2	70％以上
					1		達成率80％未満	1	70％未満
豊かな人間性の育成	**人間関係力を高め、社会生活の基本的ルールを身につけさせる**（思いやり、自立･自律を育てる）	豊かな体験を通して心の成長を促すとともに、基本的な生活のルールを守ろうとする心情を育てる。（基礎的な学習内容の定着を図ろうとするとき、学習づくりの基盤となる、当たり前のことが当たり前にできるような生活づくりが大切と考える。また、友達関係づくりを体験的に学ぶことも重要と考える）	学校内外のあいさつが、自然な形でできるようにさせる。いつ、どのようなあいさつが出来るか、具体的に示す。 朝5回、帰り3回		4	あいさつについての具体的な指導を	年10回行う	4	学校内外で、あいさつを自ら進んでできたと感じる児童が　90％以上
					3		年　9回行う	3	〃　80％以上
					2		年　8回行う	2	〃　70％以上
					1		年　7回行う	1	〃　70％未満
			縦割り班清掃を通して，むだなおしゃべりをせず時間いっぱいそうじをする力をつけさせる。		4	カードを活用したふり返りと来月の計画立案を	年10回行う	4	むだなおしゃべりをせず、そうじができたと感じる児童が　90％以上
					3		年　9回行う	3	〃　80％以上
					2		年　8回行う	2	〃　70％以上
					1		年　7回行う	1	〃　70％未満
健康・体力の増進	**体力づくり、健康づくりの指導を進め、心身ともに強い子どもを育てる**	**体力の向上、基本的な生活習慣の定着を図る**（学習の基盤となる生活習慣づくりを徹底すること、無理なく長続きのする取組を続けることが、体力づくりには重要と考える）	体育の時間の準備運動段階で、サーキットトレーニングを取り入れ、体力づくりに努める。		4	体育時間に、跳躍力を高めるサーキット	達成率95％以上	4	5月の測定時に比べ、跳躍力が向上した児童が　90％以上
					3	トレーニングを毎回取り入れる。	達成率90％以上	3	80％以上
					2		達成率80％以上	2	70％以上
					1		達成率80％未満	1	70％未満
			心身ともに健康な子どもを育てるために、生活リズムや食の大切さについて指導する。		4	生活リズムや食の大切さについての調査･指導を	年10回行う	4	生活リズムや食の大切さについての意識が高まった　90％以上
					3		年　9回行う	3	という児童が　80％以上
					2		年　8回行う	2	70％以上
					1		年　7回行う	1	70％未満
まちぐるみによる教育の推進	**保護者・地域から信頼される学校づくりに努める**	保護者・地域に対して、積極的な情報発信に努め、地域人材を積極的に活用する。	ホームページ（携帯サイトを含む）、学校便り、学年通信等を通して、積極的に学校の取り組みや児童の様子を伝える。		4	学校便り･学年便りを月1回発行、学校HPを	月8回以上更新する	4	学校の様子がよく分かるという保護者の肯定的意見が　90％以上
					3		月6回以上更新する	3	80％以上
					2		月4回以上更新する	2	70％以上
					1		月2回以上更新する	1	60％以上